

基準3 学習成果

教育プログラムの目的に即して学習成果を測定する方法を設定し、成果が適切にあげられているか。

〈優れた取組を抽出する視点の例〉

a) 学習成果の測定と結果

- 参加学生の単位取得の状況を把握することにより、学生の学習状況を分析している。
- プログラムとして期待される学習成果を踏まえ、学習成果を測定する方法を適切に設定し、継続的に測定している（例えば、学生の達成度や学習経験に関する調査、ルーブリック、学習ポートフォリオ、卒業論文・プロジェクト等のキャップストーン、標準テストや共通テスト）。
- それによって把握された学習成果の状況が、プログラムとして期待される国際水準を踏まえた学習成果を達成している。
- 国際的な共同を行うことによって実現される学習成果（付加価値）が得られている。

b) プログラム履修後の状況

- 既に卒業・修了した学生がいる場合には、卒業・修了後の直後ならびに数年後の状況の把握が行われている。
- 既に卒業・修了した学生がいる場合には、卒業・修了後の教育内容への満足度の調査や、卒業・修了者の雇用者に対する調査を行い、学習成果を検討している。
- 短期留学（ Semester単位の交流プログラムやサマー・プログラム等）においては、留学終了後の調査（満足度調査やその後の学習状況の把握等）を行い、その結果を教育内容や指導方法の改善へ活用している。

〈段階判定の尺度と説明〉

尺度	各段階の説明
課題が残っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム全体としてどのような方法によって学生の学習成果を測定するのかが定ま<u>っていない</u>、あるいは測定のための情報収集方法や判断基準が整備されておらず機能していない。 ・ 学生のプログラム卒業・修了後の状況を把握していない。
標準的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の履修・単位取得状況を分析している。学習成果の測定方法が定まり、必要な情報が集められている。授与する学位に対して適切な学習成果が得られている。 ・ 学生のプログラム卒業・修了直後の状況について把握している。
進展している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果の測定方法について教職員や学生へ詳細に説明がなされ、必要な情報が集められている。参加大学間で同様の判断基準で学習成果が判断されている。プログラムの目的に対して適切な学習成果が得られている。学生の履修・単位取得状況と学習成果との関係を分析し、教育内容や指導方法の改善へ活用している。 ・ 学生のプログラム卒業・修了後の状況を定期的に把握し、その結果を共有している。
優れて進展している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果の測定方法が妥当に設定され、参加大学の教員・学生に共有されているとともに、定期的な見直しもされている。可能な場合には他とのベンチマークを行い、学習成果が国際的にも高い水準にあることが示されている。国際的な共同による教育による付加価値が示されている。 ・ 既に卒業・修了した学生がいる場合には、その後の状況や学習成果への調査が行われ、学習成果が高く認識されているとともに、更なる教育改善への取組みが行われている。